

全空連第211号
2024年7月25日

都道府県空手道連盟 事務局長
競技団体空手道連盟 事務局長

(公財)全日本空手道連盟
専務理事 南澤 徹
(公 印 省 略)

副審2人制の運用について

平素より当連盟の諸事業に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般諸事情勘案の上、副審2人制の運用を下記のとおり強化、活用していくことといたしました。各連盟に於きましては背景、方針等を良くご理解いただき、積極的な運用かつ審判員育成にご尽力いただきますようお願いいたします。

記

1. 対象大会：小・中・高生の大会のうち、全空連主催大会地区予選以外の大会
2. 実施時期：随時
3. 背 景：①各種大会の増加による全国的な審判員数の不足
②資格の有無、経験レベルの偏りと二極化
③効率的運用活性化による審判員育成を急ぐため
4. 根 拠：空手競技規定(2023年度版)付録5(p.54)
5. そ の 他：「令和6年度プロテスト&アピールジュリー、ビデオレビュー及び副審2人制の研修会」(2024.7.27)で研修会を実施。また、必要に応じて2024年9月以降も研修会を実施していく。

以上

【本件問い合わせ先】
(公財)全日本空手道連盟
指導普及課 大井 悠矢